

戦後80年

(第5回 平和と祈りの合唱コンサート)



パゴダから、平和の歌声を。



平和を願う心、歌声に乗せて

戦後80年 パゴダ平和合唱 参加募集 (チラシ裏面)

門司港から船で戦地に出征された200万人もの兵隊さんたち。

英霊の慰霊のため、世界平和パゴダは建てられました。

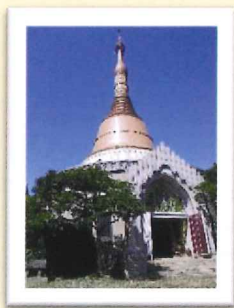
戦後80年、祈りのパゴダから平和の願いを込めて歌いませんか？



2025年4月20日 [日] ◇ 開場 13時30分 開演 14時

会場：世界平和パゴダ 北九州市門司区大字門司 3251-4 (めかり山頂駐車場より徒歩3分)

チケット：1,000円 (収益の一部をパゴダに寄付) ※今後のパゴダ建物維持に役立てていただきます



観光地・門司港レトロで有名な門司港からは戦前200万人もの若者たちが船で戦地に赴きました。世界平和パゴダは1958年に、戦地ビルマから帰還された故・市原瑞彦氏の発願から、旧門司市とミャンマー政府仏教会との合意により、戦没者慰霊・日本ミャンマー友好親善・平和祈念という主旨のもと、出征の港を見下ろす門司区めかり山頂に建てられました。後世に訴える平和への強い願いが、パゴダの建立意味そのものです。

戦後80年。平和を祈る門司のパゴダから、歌声で平和のメッセージを発信します。

〈予定曲目〉 関門の歌声・門司市歌・平和への祈り・ビルマ思えば・花の街 など

解説ナビゲーション：肌笠真由美 (文化財教育普及コーディネーター)

企画・プロデュース

合唱指揮



牟田裕 Singer



荒田砂代子 Soprano



関門海峡合唱団 Chorus



角田大河 Piano



池上知妙 Piano

チケットお取り扱い：門司市民会館、下関市生涯学習プラザ
後援：北九州市、北九州市教育委員会、下関市、下関市教育委員会
【企画お問い合わせ】 関門エンターテイメント TEL. 080-1740-9243

《参加者募集》

戦後80年 パゴダ平和合唱

門司港から船で戦地に出征された200万人もの兵隊さんたち。

英霊の慰霊のため、出征の港を見下ろす山頂に、世界平和パゴダは建てられました。

戦後80年、祈いのパゴダから平和の願いを込めて歌いませんか？ どなたでもご参加ください。

参加費： 1000 円(会場費・資料代など)

事前練習： 4月13日(日)13時～15時 旧大阪商船2F 海峡ロマンホール

参加曲(予定)：

「花の街(作詞：江間章子・作曲：團伊玖磨)」 戦後つくられた平和を願う楽曲

「故郷(作詞：高野辰之・作曲：岡野貞一)」 戦地で亡くなられた兵隊さんたちへ心を寄せ歌いましょう

指揮： 荒田砂代子(ソ프라/歌手・合唱指導者・ヴォイストレーナー)

サポート： 牟田裕(歌手・プロデュース)

サポート： 池上知妙(ピアニスト)

※資料の準備があるため、事前に参加人数をお知らせください

参加お問い合わせ： 関門エンターテイメント TEL.080-1740-9243

〈日本遺産(Japan Heritage)〉

「日本遺産(Japan Heritage)」とは、地域の文化財と歴史、伝承、風習などをひとつのストーリーとして文化庁が認定したものです。「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」は、門司港駅(北九州市門司区)、旧古河鉱業若松ビル(同若松区)や旧下関英国領事館(下関市)など、関門海峡を巡る42件の構成文化財からなるストーリーが平成29年に認定されました。世界平和パゴダも構成文化財のひとつです。

〈関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～〉

関門海峡には、外国船がもたらした舶来文化が根付き、狭い海峡を外国船が行き交う景観の中に、日本が近代国家建設へ向け躍動した時代のレトロな建物群が現在も大切に残されています。「海峡七路」を使って兩岸を巡れば、まるで映画のワンシーンに紛れ込んだような、ノスタルジックな街並みに出会うことができます。

日本遺産 JAPAN HERITAGE

関門“ノスタルジック”海峡

～時の停車場、近代化の記憶～

Kanmon "Nostalgic" Straits - Memories of Japan's modernization frozen in time -



←詳しくは公式 HP をチェック！

